



# 学校長だより

最終号 (平成 29 年 3 月 17 日)



## 祝 卒業 旅立ちの時

ついこの間、着任のごあいさつをしたばかりと思いきや、早くも年度の終わりを迎えました。本当に1日は24時間なのか、1年は365日あるのかと疑いたくなるほどです。しかし、確実に季節は移り、日差しも明るくやわらかくなり、裏山の鶯も暖かい日には、鳴く練習を始めています。本格的な春が待ち遠しいこの季節は、別れと出会いの季節でもあります。「♪今こそ一 別れめー♪」昔定番の「上げば尊し」を卒業式の式歌にする学校は少なくなりましたね。平成28年度の卒業式ですが、昨日の子鹿園分校をもって4校無事終了いたしました。今年度は本・分校合わせて11名が高等部から巣立ち、学び舎から大きく羽ばたいていきました。めでたい門出ではありますが、寂しさが入り混じった、なんとも複雑な心境です。どうか、元気に明るく一步一步着実に自分らしく進んでいってほしいと願っています。校長一年目の記念すべき最初の卒業生となるみなさん、みなさんのことは生涯忘れることはないでしょう。そして、本日、在校生も無事修了式を終えました。

さて、この学校長だよりも、今回をもちまして最終号となります。一年間ご愛読していただき、誠にありがとうございました。4月に再会できることを楽しみに。それでは「♪いざー さらーばー♪」。

## 家族の支えは偉大なり！



3月は卒業式の練習そして本番と、本分4校を駆け巡りました。何といても卒業証書授与は卒業生の晴れ姿です。卒業生も保護者も教職員も緊張します。そして、すべてに言えることが、本番が一番良かった！何が違うのか、そうです、ご家族の皆さんがいるからなんです。傍らに、家族がいて見ている、だから、いつも以上に表情が豊かに、元気な声が出て、一人で移動でき、姿勢を正し、手を差し出せる。これが「絆」というものなのだと、一人一人に証書を手渡しながら感じたことです。来賓の皆様も同様に感じてくださったようで、「いい卒業式でした」と言葉を残され、会場を後にされました。

## 受賞は続くよいつまでも！

この年度末に、うれしい二つのことがありました。最初に、本校の高等部松尾美咲さんが、高知県・高知市児童生徒表彰のダブル受賞を果たしました。昨年のスポーツ大会全国大会において、陸上(車椅子)競技で好成績を残し、学校ではこの一年無遅刻無欠席、生徒会長を務めるなど、模範となる行いに対するの受賞となりました。おめでとう！

二つ目は本校原博子教諭が、文部科学大臣表彰を受賞いたしました。教育実践に真摯に取り組み、また、保育所、幼稚園などに在籍する障害のある子どもへの支援として、その専門性を生かして助言に当たり、本県の特別支援教育の充実に貢献したことに対するの受賞となりました。

## みなさんありがとうございました！そして次年度は・・・



新米校長としての一年が何とか終わろうとしています。児童生徒の皆さんの頑張りに勇気もらい、保護者の皆さまのご支援に励まされ、教職員のたゆまぬ努力の支えにより、28年度のゴールを迎えることができそうです。心から感謝申し上げます。この一年、「期待に始まり、感謝で終わる一日」を一瞬でも実感したいという思いで、過ごしてまいりました。そして、初年度にして、このことを実感できる日が何度もありました。運動会、学習発表会、学園祭、卒業式、どの場面も、児童生徒と教職員がともに懸命に取り組む姿がそこにありました。「一生懸命」とは、自分の持てる力を精一杯発揮することと自分なりに解釈しています。そしてこの言葉を実践することは、尊く、美しく、人を感動させます。拙くたっていい、少々下手でもかまわない、大切なことは自分なりに力いっぱい努力するプロセスなのだ、この一年で得た教育でずっと大切にしていきたい考えです。そして、これからも「一生懸命」を自らのモットーとし、児童生徒の皆さんにも伝えていきたいと思えます。

さて、次年度は、今年以上に児童生徒の皆さんが、光り輝く年にしたいと思えます。特に、文化・芸術・スポーツへの参加を進めていきたいと考えていますが、そのためには、保護者の皆さま方のご協力は欠かせません、どうか来年度もよろしくお願い申し上げ、平成28年度の締めくくりといたします。